



平成27年5月15日 第773号

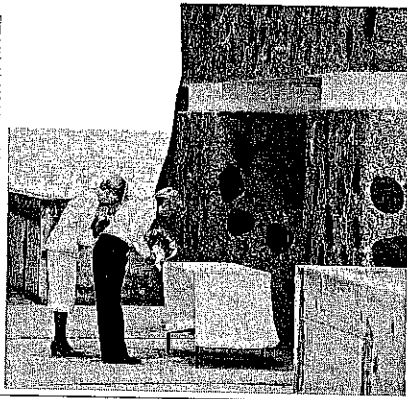
一般財団法人日本遺族会 千代田区九段南一丁目六番五号 電話 03-3261-5521 振替 00160-6-25389 福孫発行人 村上和男 毎月1日15日発行 定価 1部130円(税込)

日本遺族会は同の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰霊救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

# 両陛下、パラオを慰霊訪問

## 尾辻会長らが現地でお出迎え

天皇皇后両陛下は、戦後七十年の節目に戦没者を慰霊するため、四月八・九日の両日、パラオ共和国を行幸啓された。日本遺族会は両陛下の行幸啓にあわせて、尾辻秀久本会会長をはじめ、め関係遺族ら二十五人が四月七日から十一日までパラオを訪れ、両陛下を現地でお出迎えした。両陛下の海外での「慰霊の旅」は、平成十七年六月のサイパン島以来十年ぶり二度目となる。

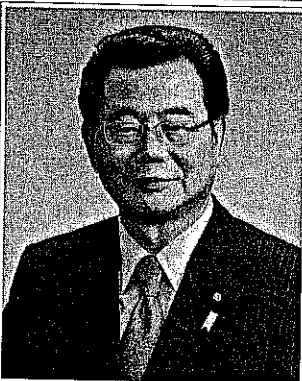


「西太平洋戦没者の碑」で拝まれる天皇皇后両陛下。四月九日、ペリリュー島で。

日本遺族会は、戦後七十周年記念事業「天皇・皇后両陛下のパラオ共和国慰霊訪問」に伴うお出迎え等事業を、四月七日から十一日まで五日間実施した。尾辻秀久本会会長、増失副会長、村上和男専務理事をはじめ、パラオ等でお出迎えした。両陛下は、四月七日、成田空港を出発し、八日未

明パラオに到着した。両陛下は八日前、皇太子殿下、秋篠妃殿下をはじめ、安室信吾三内閣連任大臣、森田次夫前会長らに見送られた。羽田空港から特別機でパラオへと向かわれた。八日夜、パベルダオ島にあるパラオ国際空港に着くと、到着された両陛下は、空港内でレメンゲサウ大統領夫人と会見。本会一行は、地

元住民らと手話からの伝達で両陛下をお出迎えした。その後、両陛下はコロロ島の戦没者墓、パラオ、ミクロネシア連邦、マリヤル諸島共和国の大統領夫妻と懇談され、夜にはパラオ政府主催の晩餐会にご出席された。晩餐会には尾辻会長も招待され、天皇陛下は晩餐会のご挨拶で、「ここパラオの地において、私どもは先の戦争で亡くなったすべての人々を追悼し、その遺族の歩んできた苦難の道をしるのびたいと思えます」とお言葉を述べられた。



# 水落敏栄氏

日本遺族政治連盟 参議院議員候補者

日本遺族政治連盟は、平成28年夏に実施される参議院議員通常選挙における本連盟唯一の比例代表推薦候補者に、日本遺族会顧問の水落敏栄氏(現参議院議員)を擁立することを決定した。

【現在の役職】  
自由民主党戦没者遺骨帰還に関する特命委員会委員長、参議院文教科学委員長、遺族協議会協議会事務局長、みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会事務局長、日本遺族会顧問、自由民主党組織運動本部長代理、等

春の叙勲  
政府は四月二十九日付で平成二十七年春の叙勲受章者を発表し、本会関係者に栄えある受章に輝いた本会関係者は次の方々である。

▲旭日章  
久谷清邦氏(80歳)  
日本遺族会副会長 福井県遺族連合会副会長  
野島昭男氏(83歳)  
日本遺族会元副会長、兵庫遺族会副理事長。

### 第10回 特別弔慰金

平成27年4月1日(基準日)において、「恩給法による公務扶助料」「戦没者遺族等遺族等現行法による遺族年金」等を受け取らな方(戦没者等の妻や父母等)がない場合に、次の先順位で遺族一人に支給。

- 1 平成27年4月1日までに戦没者遺族等遺族等現行法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等の父(母)・祖父(祖母)・兄弟姉妹  
※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかが重要(三親等内の親族(妻、母等)は上記1から3以外の戦没者等の死亡時より1年以上の生計関係を有していた方に限ります)
- 4 上記1から3以外の戦没者等の死亡時より1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

支給額	請求期間
額面25万円 5年償還の記名国債	平成27年4月1日から 平成30年4月2日まで

### お住まいの市区町村の援護担当課

「特別弔慰金」継続・増額  
平成二十七年政府予算の党などの賛成多数で可決、四月九日の参議院本会 決、成立した。予算成立が、直民、公明、次世代、四月以降にずれ込んだのは、平成二十三年度以来、二年ぶりとなった。本会関係者であった「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」(別項)が継続・増額されたことが一番大きい。その他「戦没者遺族」による慰霊友好親善事業関係「では、大型客船を借上りしての洋行・研習費(一億八千八百万円)、「戦没者遺骨収集推進の促進」として十六億四千九百九十九万円、「昭和館事業」として四億九千七百九十九万円が計上された。さらに、「全国戦没者追悼式」(別項)として、国費参列者を都道府県五人増員の五十五とし、内、一人は八歳未満の遺族を参列者に加えるなどの改革も行い、一億五千万円を盛り込んだ。

「赤子抱く春 薄月の重さか」とある。解説と、赤ん坊を抱いた時の感じはどうか。温かくて柔らかく抱くことができた。こんな感じなのかとある。可愛くて母乳のおいがするが小さくてもこの世を生を受けた、しっかりと大の重みを感じられる。西カワリ諸島西端のパラオ諸島。一九一九年から日本の委任統治領となり南洋庁が置かれ、南緯登等の会社が進出し、最盛期には在島日本人は一万五千人を超えた。今は観光立国としての基盤を作りつつあるが先の大戦ではここもまた玉碎の島である。4月8・9日、天皇皇后両陛下は戦後70周年の節目に戦没者の慰霊のためこの地を訪問された。ペリリュー島の政府建立慰霊碑の御前にて献花し、大きく拝礼されるお姿を見ながら「先の戦争で亡くられたすべての人々を追悼し、その遺族の歩んできた苦難の道をしるのびたい」とのお言葉の意味が、身体の内々にまで響き渡る所である。▼安倍首相は米議会で演説し、歴史認識については「謝罪」や「お詫」という文言は避け、先の大戦への「反省」を語り、両国の和解の歴史と「未来志向を強調した。赤ん坊を抱き温かく柔らかく、ふわりとした兵士も多かったであろう。一英霊のためにまたまた新しく生まれる赤ん坊のためにもしっかりとした誠意を込めたものである。(A)

### 27年度政府予算が成立

「特別弔慰金」継続・増額  
平成二十七年政府予算の党などの賛成多数で可決、四月九日の参議院本会 決、成立した。予算成立が、直民、公明、次世代、四月以降にずれ込んだのは、平成二十三年度以来、二年ぶりとなった。本会関係者であった「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」(別項)が継続・増額されたことが一番大きい。その他「戦没者遺族」による慰霊友好親善事業関係「では、大型客船を借上りしての洋行・研習費(一億八千八百万円)、「戦没者遺骨収集推進の促進」として十六億四千九百九十九万円、「昭和館事業」として四億九千七百九十九万円が計上された。さらに、「全国戦没者追悼式」(別項)として、国費参列者を都道府県五人増員の五十五とし、内、一人は八歳未満の遺族を参列者に加えるなどの改革も行い、一億五千万円を盛り込んだ。

### 靖国神社 みたままつり 献灯の御案内

靖国神社みたままつりが七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。御遺族・戦友会、崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願い致します。

献灯初穂料  
小型献灯 一灯につき 三千元  
大型献灯 一灯につき 一万円

献灯基金初穂料  
小型献灯 一灯につき 七万円  
大型献灯 一灯につき 二十万円

### 靖国神社 献灯の御案内

靖国神社みたままつりが七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。御遺族・戦友会、崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願い致します。

### 靖国神社 献灯の御案内

靖国神社みたままつりが七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。御遺族・戦友会、崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願い致します。

靖国神社みたままつりが七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。御遺族・戦友会、崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願い致します。

靖国神社みたままつりが七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。御遺族・戦友会、崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願い致します。

靖国神社社務所 献灯係

小型献灯 一灯につき 三千元  
大型献灯 一灯につき 一万円

献灯基金初穂料  
小型献灯 一灯につき 七万円  
大型献灯 一灯につき 二十万円

〒102-8246 東京都千代田区九段北三二-1  
電話 03-3261-8326(代)

靖国神社社務所 献灯係

小型献灯 一灯につき 三千元  
大型献灯 一灯につき 一万円

献灯基金初穂料  
小型献灯 一灯につき 七万円  
大型献灯 一灯につき 二十万円

※この「献灯基金」は「みたままつり」の献灯行事を維持する限り「みあか」として毎年七月十五日受付分まで終了し、遺族御持出する永代御持出が未入付の場合は、よる制度に切り替えて「みあか」等とさせていただきます。の旨承知願います。

お申し込み御希望の方は靖国神社社務所 献灯係までお問い合わせください。  
申込要領等をお送り致します。

靖国神社社務所 献灯係

小型献灯 一灯につき 三千元  
大型献灯 一灯につき 一万円

献灯基金初穂料  
小型献灯 一灯につき 七万円  
大型献灯 一灯につき 二十万円

靖国神社みたままつりが七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。御遺族・戦友会、崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願い致します。

# 春季例大祭を齎行

## 安倍総理が大真神を奉納

靖国神社

靖国神社では四月二十一日から二十三日までの三日間にわたり、春季例大祭が齎行され、天皇陛下より勅使が差し遣われ御幣帛が奉納された。内閣府副大臣、衆議院議員、厚生労働大臣は大真神を奉納し、二十二日午前八時には、超党派国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)が揃って昇殿参拝した。



本殿に参向する天皇陛下の勅使=4月22日、靖国神社で

靖国神社春季例大祭は、二日には「吉田」が齎行 表など約六百十人が参列し、四月二十一日午後三時の「吉田」を齎行し、四月二十一日午後三時、全国各地から参拝者で賑わいに執り行われた。四月二十二日午前八時、徳川康久宮司以下の神職が本殿に進み、開院奉祝の祝詞を奏上し、神職を齎した。同日午後十時、徳川康久宮司以下の神職が本殿に進み、開院奉祝の祝詞を奏上し、神職を齎した。同日午後十時、徳川康久宮司以下の神職が本殿に進み、開院奉祝の祝詞を奏上し、神職を齎した。同日午後十時、徳川康久宮司以下の神職が本殿に進み、開院奉祝の祝詞を奏上し、神職を齎した。

### 時局に思う



日本遺族会顧問  
参議院議員  
水落敏栄

「遺族の皆様には、お返事お返しのことと拝察いたします。先月、天皇皇后両陛下はパラオ共和国を訪問され、激戦地ベリリユー島の西金洋戦没者の碑に

おいて、日本から持参された白菊を献花され御霊の冥福を祈られました。出発前には両陛下とも体調を崩されたという報道があり、二日間の過密日程に加え、二度と南洋の気候は大きな負担であったことは否めませんが、慰霊に当たっての強い信念には、誠に感佩に堪えません。

陛下はパラオ出発前に「天竺洋に浮かぶ美しい島々で、このように悲しい歴史があったことを、決して忘れてはならない」と述べられ、戦争の風化を痛感しておられる。戦後七十年、国民の八割が戦争を知らない世代が占める今日、戦争は風化され、平和で豊かな暮らしを営まれる思いが、

### 「みんなで参拝」190人

靖国神社

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)は、靖国神社に参拝する国会議員の会が、四月二十二日午前八時、超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)が揃って昇殿参拝した。

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)は、靖国神社に参拝する国会議員の会が、四月二十二日午前八時、超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)が揃って昇殿参拝した。

### 安倍内閣三閣僚が別途参拝

靖国神社

村田早苗参議院議員は、四月二十二日午前八時、超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)が揃って昇殿参拝した。

村田早苗参議院議員は、四月二十二日午前八時、超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)が揃って昇殿参拝した。



参拝後、記者会見に臨む「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」尾辻秀久会長と水落敏栄事務局長=4月22日、靖国神社で

### 平成26年度 本会事業実施一覽

本会主催勸助勸進巡拝	参加者	
ミャンマー	13	
勸助勸進による慰霊友好親善事業	参加者	
旧海州	20	
西部ニューギニア	25	
旧ソ連	20	
マリアナ諸島	24	
東部ニューギニア(1次)	21	
トラック・パラオ諸島	25	
ボルネオ・マレー半島	13	
フィリピン(1次)	77	
ソロモン諸島	6	
ミャンマー(1次)	35	
西部ニューギニア(特定)	13	
台湾・パシフィック	5	
東部ニューギニア(2次)	18	
ビスマーク諸島(特定)	18	
ミャンマー(2次)	26	
フィリピン(2次)	57	
マニラ・ギルト諸島(特定)	中止	
中国	19	
16地域	19回	422
遺骨収集派遣事業	派遣者	42
硫黄島取寄(13回)	59	42
硫黄島慰霊(21回)	21	調査
旧ソ連(8回)	22	127
東部ニューギニア	3	256
ビスマーク・ソロモン諸島	3	501
パラオ(調査派遣)	1	調査
5地域	45回	926
海外未送還遺骨情報収集事業	派遣者	109
東部ニューギニア(5回)	10	204
ビスマーク・ソロモン諸島(6回)	12	571
民間建立慰霊碑等整理事業	派遣者	2
ロシア	2	
フィリピン(2回)	4	
ミャンマー	2	
博大:千島列島維持管理事業	派遣者	2
博大		
昭和館	入館:来場者	370,311
巡回企画展(佐賀県・石川県)		9,100

### 新会長に寺島泰三氏

英霊にこたえる会総会

英霊にこたえる会は四月二十三日、第四十一回総会を東京・ホテルグランドビル市谷で地方本部、中央参加団体の代表約百二十人が参加し開催された。

英霊にこたえる会は四月二十三日、第四十一回総会を東京・ホテルグランドビル市谷で地方本部、中央参加団体の代表約百二十人が参加し開催された。

「自民党」秋元司、あべ俊子、甘利明、石破茂、稲田朋美、井上信治、伊吹文明、遠藤利明、大西幸幸、小畑信子、金子一義、神山俊、亀岡信、神田豊次、城内美、木村太郎、小松裕

「自民党」秋元司、あべ俊子、甘利明、石破茂、稲田朋美、井上信治、伊吹文明、遠藤利明、大西幸幸、小畑信子、金子一義、神山俊、亀岡信、神田豊次、城内美、木村太郎、小松裕

「役員選挙委員会」4月16日(日)役員選挙委員会の正副委員長互選の本会の会長、副会長、専務理事の推薦について。

「役員選挙委員会」4月16日(日)役員選挙委員会の正副委員長互選の本会の会長、副会長、専務理事の推薦について。

# 一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願ひ

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族支援など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行って来たところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙の購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援、ご協力を仰がなければなりません。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

**賛助金のお振込みは**

●郵便振替 00130-2-694929 ●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930

口座名は「一般財団法人日本遺族会：ザイ」二ホインソクカイ

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

## 平成27年度・戦没者遺児による慰霊友好親善事業・実施計画概要

実施地域	実施時期		募集人員	申込締切
	主	訪		
1 旧満州	平成27年8月3日(月)~8月12日(水)	9泊10日	30人	平成27年6月22日
2 旧ソ連	平成27年8月24日(月)~9月1日(火)	8泊9日	29人	平成27年7月13日
3 西部ニューギニア	平成27年9月9日(水)~9月18日(金)	9泊10日	35人	平成27年7月28日
4 ボルネオ・マレー半島	平成27年9月16日(水)~9月25日(金)	9泊10日	30人	平成27年8月4日
5 マリアナ諸島	平成27年9月24日(水)~9月30日(水)	6泊7日	20人	平成27年8月12日
6 東部ニューギニア	平成27年10月3日(土)~10月10日(土)	7泊8日	60人	平成27年8月26日
7 中国	平成27年10月8日(木)~10月16日(金)	8泊9日	45人	平成27年8月28日
8 トラック・パラオ諸島	平成27年10月31日(土)~11月7日(土)	7泊8日	30人	平成27年9月18日
9 ソロモン諸島	平成27年11月7日(土)~11月14日(土)	7泊8日	20人	平成27年9月25日
10 ミャンマー	平成27年11月13日(金)~11月22日(日)	9泊10日	45人	平成27年10月1日
11 フィリピン	平成27年11月25日(水)~12月2日(水)	7泊8日	120人	平成27年10月13日
12 洋上慰霊	平成28年3月1日(火)~3月10日(水)	9泊10日	400人	平成27年12月5日

上記12地域の他に特定地域として下記1地域を行う予定です。

1 マンモック・ギンギン諸島 平成27年12月5日(土)~12月13日(日) 8泊9日 36人 平成27年8月22日

下記地域については、応募状況によって機上調整等を実施する場合があります。

①西部ニューギニア(ワグアイ、ダンケン、トル川、サルム)

②東部ニューギニア(リナム、マルジップ、坂前川、アイタ、山南方面)

③ビスマルク諸島(タロキナ、ブイン、ムグアイ)

本紙(同欄)でもお願いしている本会の賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。

なお、大気汚染防止に資する、送金方法により居住地域が特定されない場合がございますので、省略させていただきます。

賛助者名 敬称略、カタカナ名は振替口座、漢字名は現金書留等

佐藤昭 龍博(息子)、荒川直雄 原田新彦、工藤かち、内田栄治、新名一男

## 本会諸活動への賛助金のお礼

中込方、増田光弘、北乾好子、北乾謙子、稲尾喜子、大澤久美、酒井晴枝、大津重信、松井仙吉、牛島英貴、野村幸子、大下英子、中川誠治、古賀豊、安田昌夫、山田昌隆、末永勝太郎、阪本貞子、飯田雄、小山剛二、藤原信夫、塚田進、池田謙藏、荻野和子、石田弘子、高野志津夫、上原久、向山緑(以上、四月一日から四月末日まで)

皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業等の活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

本会事業参加者の皆様へ  
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(個人情報は個人情報の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください)

# 好業 友事 慰親 霊善 父の冥福を祈る旅

## フィリピン、中国を実施

日本遺族会主催「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」のフィリピン、中国が実施され、参加した遺児は亡き父の眠る、緑の地を巡り、父が見たであろう光景を目に焼き付け冥福を祈った。また、現地でも友好親善を図り、小学校や病院訪問、植林等を行い交流を深めた。これにより平成二十六年度の事業は終了し、参加者は四百二十二人となった。

**フィリピン**  
フィリピン、慰霊友好親善訪問団(総務部長 伊藤早苗(会長)、理事 五十人)は、三月四日、諸国会館に集合し種別別式を行い、翌五日に成田空港を出発した。A班は、イボ、ボソボン、サンマテオ、モンタルバン、マニラ市内、B班は、コレヒドール島、シロアン、ルセナ、サンホセ、タナウア。C班は、クラーク、バギオ、アンブクラル、リガエン、ラブラドール、ガック。D班は、エチアゲ、オリオン、キャンガン、バナウエ、サラクク、マニラ市内、B班は、コレヒドール島、シロアン、ルセナ、サンホセ、タナウア。C班は、クラーク、バギオ、アンブクラル、リガエン、ラブラドール、ガック。D班は、エチアゲ、オリオン、キャンガン、バナウエ、サラクク。

一行は三月十日、所期の目的地を達成し、現地の生徒たちや関係者と交流し、友好を深めた。三月十日には、カリラヤの「比高戦没者の碑」前において全戦没者追悼式を挙行し、英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。

一行は三月十日、所期の目的地を達成し、現地の生徒たちや関係者と交流し、友好を深めた。三月十日には、カリラヤの「比高戦没者の碑」前において全戦没者追悼式を挙行し、英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。



イボダムを望んでの個人慰霊祭 = 3月6日、フィリピンで

は車椅子等を寄贈して、現地の生徒たちや関係者と交流し、友好を深めた。三月十日には、カリラヤの「比高戦没者の碑」前において全戦没者追悼式を挙行し、英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。

一行は三月十日、所期の目的地を達成し、現地の生徒たちや関係者と交流し、友好を深めた。三月十日には、カリラヤの「比高戦没者の碑」前において全戦没者追悼式を挙行し、英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。

## 政府遺骨収集

パラオ諸島戦没者遺骨収集推進調査隊が、政府主催により二月二十四日から二十九日まで実施され、本隊より人員を派遣し、パラオ諸島に到着した。調査隊は、パラオ諸島の戦没者遺骨を収集し、帰国して追悼式を行うこととなっている。

調査隊は、パラオ諸島の戦没者遺骨を収集し、帰国して追悼式を行うこととなっている。調査隊は、パラオ諸島の戦没者遺骨を収集し、帰国して追悼式を行うこととなっている。

## パオを調査

会から職員一人を派遣し、パラオ諸島に到着した。調査隊は、パラオ諸島の戦没者遺骨を収集し、帰国して追悼式を行うこととなっている。

調査隊は、パラオ諸島の戦没者遺骨を収集し、帰国して追悼式を行うこととなっている。調査隊は、パラオ諸島の戦没者遺骨を収集し、帰国して追悼式を行うこととなっている。

見たと思われる河や山、病院跡等を見学した。個人慰霊祭はホテルの一室を利用して行い、亡き父への思いを涙ながらに語りかけることも同地域で散華された多くの英霊の冥福を祈った。

また、一行は三月二十七日、北京郊外の万里の長城付近にある中日友好森林内において柏の樹を植林し、訪問団のもう一つの目的である環境整備活動に従事した。

同日の夕刻には、在中華人民共和国日本国大使館並びに中華全国青年連合会代表表を授け、懇談会を開催し、民間外交に貢献して翌二十八日、所期の目的を果した無事に帰国した。

植林活動にむく団員たち = 3月27日、北京郊外で

# 遺児の参加者募集

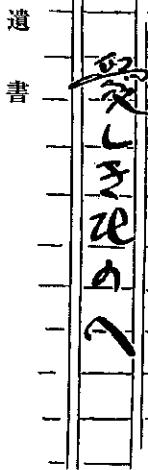
## 洋上慰霊他 12 地域を実施

日本遺族会では、平成二十七年年度の「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」について、厚生労働省より補助金交付団体に選定されたことを受け、実施計画概要(三面掲載)のとおり、述べ十三回を実施することとし、遺児の参加者を募集する。特に本年度は、「終戦七十周年記念事業」として、船舶を借上げて洋上慰霊を実施する。参加費は 10 万円。

「一度は亡き父の戦没地を訪れ慰霊したい」との戦没者遺児の切なる想いを受け、平成二年から行われていた同事業は、これまで約 1 万 3 千人の遺児が参加している。

本年度は、終戦七十周年記念事業として、洋上慰霊を計画し、平成二十八年三月一日から十日(九泊十日)の期間で、南西諸島沖、台湾、バンシー海峡、フィリピン東方沖、パラオ諸島沖、マリアナ諸島を巡る予定である。

募集要項は次の通り。  
▼地域及び時期 実施計画



遺書

海軍少佐 沖山 文忠

昭和二十年五月十五日  
南西諸島方面にて戦死  
東京都八丈島大賀郷村出身 二十五歳

今、敵米英艦隊が断末魔の苦しみをかいて居る戦場に程近い基地で待機。今日明日の必死必中攻撃を待つて居ます。

今は何も憶ふ事はありません。誰か、青い空に三千年ゆるぎなき神州に生を享けて二十有余年、広大無辺なる大陸に浴し父母の慈愛に育まれ、山よりも高く海よりも深い脚の響きにより、大東亜の魂主たる皇国民として大過なく今日あるを得。今又赤子の一人として神風特攻隊員として神州の不滅を確信しつつ悠久の大義に生きる。例へば身は敵米艦と共に太平洋のほとけとならうとも、日本男児と年を享け之に過ぐ可き本懐が又とありませうや。

(中略)

皇國の興隆を賭すこの一大過渡期に當りて、君の御稱と散り行くわが身は共に幸福でありませぬ。最後に臨み申し上げ度きは、皇座のご安泰と大東亜の健全なる発展を神にかけて祈り申し上げると云ふ事でありませぬ。

尚、亡き母は勿論、父は胎内肉親の皆様、長々と苦勞のみお掛けし何事もすれもなく、孝養しませずして去り行く私を何卒お許し下さい。

では皆様未長にお喜び。

昭和二十一年五月六日

沖山徳三郎殿

平成二十七年五月靖国神社社頭掲示

愛しきものへ

好業 友事 慰親 靈善

業に参加してから五年経過していない方について申し込みが可能である。

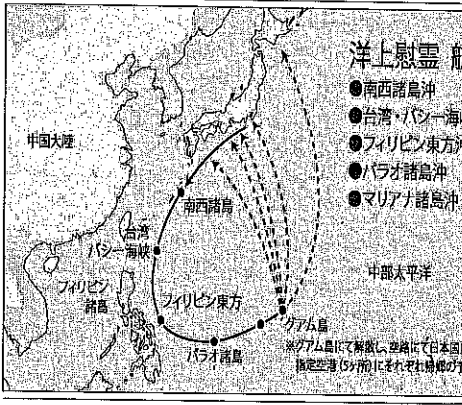
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ、申込書の記入項目の全てに記入を要するので、事前に申込用紙を取らせておく。

▼参加費 10 万円

ただし、自宅から集合場所までの移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。

▼応募資格 戦没者の遺児

※過去の参加者で 5 年を経過した場合、平成 27 年度を含め、それ以前の参加者は再度申し込みが可能。なお、洋上慰霊については、海上で危険を冒した方を対象とした記念事業であるため、前回の洋上慰霊参加者を除き、すでに本事



27年度遺骨収集帰還事業実施概要

流送地域	実施時期	申込期限	定員
硫黄島(前半期)	※後半期の予定は未定		
硫黄島 収容派遣 第1回	6.2~6.17	終了	7名
硫黄島 収容派遣 第2回	6.30~7.15	6.23	

ソ連・南方

流送地域	実施時期	申込期限	定員
(ソ連) ハロフスク地方	7.7~7.22	5.22	4名
(ソ連) イルクーツク州	7.14~7.29	5.29	
(南方) 沿海地方			

※未確定

※(南方)は東部ニューギニア、ビスマーク、ソロモン群島等と予定  
※地域・期間は現在の予定であり変更・延期・中止・追加する場合があります。

## 政府遺骨収集事業

日本遺族会では、二十七年年度の遺骨収集帰還事業の派遣者を募集している。募集要項は次のとおり。

▼参加資格 都道府県遺族会の会員である戦没者の遺児、甥、姪、孫、ひ孫で身体健康であり、現地で収容作業に従事できる者。

▼申込方法

この事業は事前登録制で、各都道府県遺族会に申込用紙「戦没者遺骨収集帰還事業参加申込書」に記入の上、各都道府県遺族会事務局へ申し込み願いたい。なお、参加希望者が政府から指定された派遣人員を上回った場合は選考となる。

## 九段短歌

選者 三井 勝生

千葉市 石橋 壽子  
石岡市 小山 滝江  
茨城県 佐藤 昭雄  
甲州市 三森 一雄  
那須塩原市 小川原勝夫  
那須塩原市 小川原勝夫  
春日 芳子  
岡田 徹也

昭和二十二年二月陸下に御駕籠の報が走った。陛下は最後に「六三年には向うに行け、よろしく」と。古神道団体のある菅長が呼ばれた。菅長は太皇急(○)名の女性と命懸きの秘法を懇話に修した。翌年一月七日陛下は神界に帰られた。では六三年には行け、といふ意味は何か。國民は正月を樂しみにする絶体でなければならぬこと、とおは思ひになられたと、菅長が語ってくださった。大御心の偉大な例であらう。

(選者)

## 地方

各都道府県遺族会、実施された大会、研修等は次のとおり。

▼徳島県 3月24日 徳島県遺族会第4回理事会(26人)

▼滋賀県 4月18日 滋賀県遺族会青年部総会大会(100人)

▼山口県 4月20日 27年度山口県遺族会総会(2000人)、同日午後防長英霊慰霊祭(200人)

▼徳島県 4月20日 平成27年度徳島県遺族会役員等研修会(235人)

あなたの脳年齢は何歳ですか?

0120-04-9898

0120-04-9896

脳内核磁気検査 6,500円

脳年齢測定 3,500円

物忘れが増えたら 要注意!!

上の写真の脳内核磁気検査の結果、三子さんは実年齢八十七歳ながら、記憶力も確かな言葉も行動も17歳とされている。そんな彼女の脳年齢はなんと三十二歳。いったいこの秘訣はなににあるのだろうか。

調べることも意外な事実が分かった。人間の脳細胞は年齢とともに減少し、「再生しない」と、百年にわたって信じられてきた説が覆されたのだ。一九九八年、アメリカとスウェーデンの研究チームは、学習に関わる脳細胞が大人の脳内で新たに作られていることを確認。また、日本とアメリカの共同チームは、脳細胞に必要な栄養を与えることで脳細胞の増殖・分裂に成功した。つまり、老化によっておとろえてしまった脳も返るといふわけだ。

そこで、脳に必要な栄養として忘れてはならない成分が核酸。核酸が主成分の健康食品を摂取したモーターの脳年齢を調べてみたところ、八七・五歳の被験者が満足したという。その中のひとり、六十二歳の女性に話を聞いた。彼女は、数年前から物忘れがひどくなってしまったという。「物忘れが進行してしまっただけで近頃は見えていますから、私までなりましたらどうしてよ、真剣に悩んでいます。」

そんなときに出合ったのが、脳内核磁気検査。しばらくして、少しずつ物忘れが気にならなくなってきたという。「これは期待できると思うので脳年齢を測定してみたら、なんと三十五歳。驚きです。」

